

第 193 回 日本知能情報ファジィ学会理事会議事録

日時：2013 年 9 月 9 日（月） 12:00～15:00

場所：大阪国際大学枚方キャンパス 4-511 会議室（4 号館 5 階）

出席者：馬野（会長）、林（副会長）、中嶋（副会長）、乾口（将来構想）、井上（会計）、
工藤（大会事業）、関（広報）、徳丸（事業）、星野（電子化検討）、前田（庶務、会誌）、
安信（会計監事）、三河（オブザーバ：編集委員長）

欠席者：佐藤（他学会連携）、秋山（賞選考）、和多田（事業監事）

1. 前回議事録の承認（資料 193-0）

第 192 回理事会の議事録の確認を行い、承認された。

2. 理事会メーリングリスト報告済事項の確認

理事会メーリングリストで既に報告されている以下の事項の確認および報告がなされた。

(1) 学会賞選考について（秋山、林）

・林副会長から確定した各種学会賞について説明があり、翌日の表彰式にて表彰されることが報告された。

(2) SCIS2014 開催準備室からの照会事項（工藤）

・審議事項 3(4) と同時に説明がなされた。詳細については 3(4) を参照。

(3) ファジィ学問塾 2013 の Web ページについて（徳丸、関）

・徳丸事業担当理事から、これまでの学問塾 Web ページは事業担当の先生が作っていたが、今後は学会のサーバに WEB ページを立てることにしたことが報告された。現在、暫定版のページがすでにできており、申込ページのみ Google を使用することも報告された。

(4) 月次決算について（井上）（資料 193-7：当日配布）

・井上会計担当理事から、毎月事務局から月次決算について同様のリストが送られて来るので、今後は理事の情報共有のため、パスワードをかけて理事会 ML に送付してはどうかとの提案があった。
・これに対して、理事からは毎月は必要ないとの意見があり、理事会ごとに報告することになった。

3. 理事会メーリングリスト審議済事項の確認

理事会メーリングリストで既に審議されている以下の事項の確認と審議がなされた。

(1) ソフトコンピューティング 100 選について（関、林）（資料 193-1：当日配布）

・関広報担当理事より、来年の学会設立 25 周年を記念して、委員会のほうでソフト 100 選の宣伝をすることに決まったことが報告された。

・関理事からは以下のようないくつかの意見と提案が出された。

- 解説論文は会員のみ PDF で閲覧できるようにしてはどうか。学問塾の講義等も公開してはどうか。
- 募集を出すだけではほとんど集まらないと思われるので、提供の呼びかけは強くしていく必要がある。理事が属する研究会などでも宣伝してほしい。
- ネーミングも募集案内までに再検討してはどうか。100 選という名称はこのままで良いかどうかも含めて ML で理事のアンケートを取りたい。

・林副会長からは、ソフト提供者との契約書もきちんと作らないといけないので、契約書の作成はプロの法律事務所に頼むことにしてはどうかとの意見が出された。

・これに対して、関理事からは大工大の先生に現在依頼中であり、その結果によって契約書作成を断られた場合、法律事務所に頼むことにしたいとの意見が出された。

- ・馬野会長からは、提供者のメリットがわかりにくいので明記したほうが良いとのコメントがあった。
 - ・中嶋副会長からは、契約書を交わして署名することになるとハードルが上がり、提供者が少なくなる可能性があり、提供者と使用者の2者間で責任をやり取りするようなシステムにして手続きを簡素化してはどうかとの意見が出された。
- (2) 事務局委託の契約について (井上、工藤) (資料 193-2 : 当日配布)
- ・前期理事会が事務局と業務委託契約書の案を作成し、事務局とほぼ合意に至っていたが、最終的な締結をしていなかった。そのため、今年度分の業務委託に関して事務局との正式契約がまだできておらず、早急に手続きを行う必要があることが井上会計担当理事から説明があった。
 - ・委託契約内容については、今回の業務委託契約書案を見て気づいた点を指摘してもらい、次回理事会までに関係者4名(馬野、井上、工藤、徳丸)で修正案を作成することになった。次回の理事会承認後、至急、契約締結することになった。
- (3) 名誉会員、特別会員の認定について (林) (資料 193-3 : 当日配布)
- ・林副会長から来年度から年度の変わり目に会員種別を変更することにしてはどうかとの提案があり、承認された。
 - ・特別会員は該当者にメールを流して、会費支払い時に本人申請で適用することになった。今回対象者は3名となった。名誉会員は本人申請なしで理事会選出され、今回対象者は9名となった。小倉先生、中村先生も名誉会員に加えることが承認された。
 - ・これまでは特別会員、名誉会員については本人の申し出で会員種別を変更していた経緯があったが、年齢が会員リストに情報として存在しないため、事務局ではこれらの名簿を作れないことも報告された。
 - ・馬野会長からは、現在年齢のわからない人については、会員更新の際に事務局から年齢確認(誕生日記載)してもらうことにしてはどうかとの意見があり、承認された。
- (4) SCIS2014のWebページについて (工藤、星野、関) (資料 193-4 : 当日配布)
- ・工藤理事からWEB担当者への引き継ぎを開始したことが報告された。
 - ・現在、自前でドメインを取り、ここで仮のテキストのみのWEBページが開設されており、学会のサーバ上に正式ページが開設されたら本開設を行う予定であることも報告された。カラーチップスのサーバが現在未契約のため、正式開設は急いで欲しいとのコメントもあった。
 - ・星野理事からは、カラーチップスにサーバの再見積りと、サブドメインの追加の見積りも取っているところであることが報告された。見積りが届き次第、理事会MLに流す予定。
 - ・馬野会長からは、学会サーバについて時間がないので、今年に関しては前回理事会で確認した見積りの内容で契約を行ってはどうかとのコメントがあった。ただ、星野理事から、前回の見積りについては期限が切れているため、再度見積もりを取り直し、理事会MLに流してメールで承認を取ることにしたいとの意見があり、承認された。
- (5) FSS2014 実行委員会準備状況 (星野、林) (資料 193-5 : 当日配布)
- ・FSS2014 実行委員長の星野理事から、台風等の交通事情を考えると、高知工科大は諦め、高知市内でしか開催できないこと、会場の部屋数からすると高知城ホールしか考えられないこと、とりあえず3つの候補日程で仮予約をしてあること、などが報告された。
- (6) FSS2015 合同シンポジウムについて (林、佐藤) (資料 193-6 : 当日配布)
- ・林副会長から、開催地の希望情報があれば連絡してほしいとのお願いがあった。
- (7) FAN2015の主催について (関)
- ・前期理事会にて、FANへの協力を断ったため、FANの主催リストからSOFTがはずされていたが、魚崎先生からSOFT理事会が新メンバーになったので、再度主催を検討できないかという打診があったことが関理事から報告された。
 - ・しかしながら、2015年度についてはFSSの合同シンポが予定されているため難しいとの理事の意見

を配慮して断ったことも報告された。

(8) 投稿規程の見直しについて (林)

- ・林副会長から、他学会で大学を退官された先生が、採録された論文の掲載料を支払わず、さらに同じ著者がその後、新たな論文を投稿してきており、対処に苦慮しているという事態が起きていることが報告された。
- ・SOFT の場合にはこれに該当する規定がないので、新たな論文を受け付けざるを得ない。今後同様の事態が当学会でも起こる可能性があるため、論文投稿規定を見直したほうが良いのではないかとの提案が林副会長からなされた。これについて来年の総会で規定を変更することが承認された。
- ・井上理事から、SOFT でも論文掲載料を支払っていない研究室の卒業学生が発覚したケースもあることが報告された。今後は同様の事態を防ぐため、著者に採録決定時に、掲載料の支払い請求者の氏名と連絡先も併記させることに決まった。(編集委員会にて対応)

4. その他

(1) IFSA2017 の日本開催について (馬野)

- ・馬野会長から、IFSA の日本開催について 2017 年の立候補の打診が古橋先生 (IFSA セクレタリー) あったことが報告された。
- ・もし開催するなら 11 月にプロポーザルを出す必要があること、開催地は名古屋、関東は無理なので関西しかないこと、大阪はコンベンションセンターが補助金を出すとやっていること、規模は 300 名程度であること、日本での IFSA 開催は第 2 回 (1987 年) 以来になること、なども報告された。
- ・本件については、次回理事会か ML で審議することになった。

5. 次回理事会について

- ・次回理事会は、10 月 19 日 (土) に開催することになった。(場所は未定)